

# 関西大学

関西大学では、400名を越える大教室授業に携帯電話を活用する取組みを、商学部の一部の授業で始めている。大規模教室では、出欠管理、学生の理解度把握、授業評価アンケートの実施など困難を伴うが、学生の携帯電話を大学のeラーニングシステムと接続し、入力端末として活用した結果、小テストの理解度などを含めた総合的な成績評価、学生による授業評価が可能になっている。

## 1. 実施規模

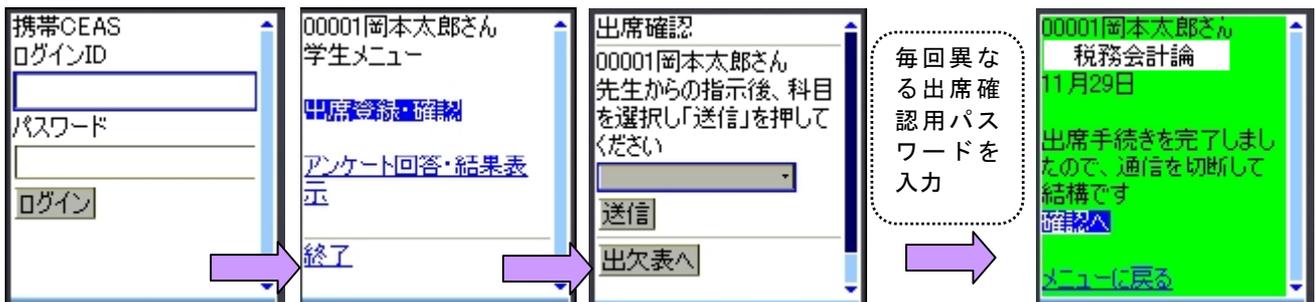
税務戦略論（450名）、税務会計論（690名）

## 2. 授業での使用内容

授業開始時に携帯電話から大学のeラーニングシステム(CEAS)に接続して出欠確認を行う。

授業では、教材・テキストをスクリーンに投影し、教員が提示するテーマについて選択式の意識調査アンケートを実施する。学生は携帯電話からeラーニングシステムのアンケート機能に接続して回答し、集計結果のグラフを瞬時にスクリーンへ投影する。

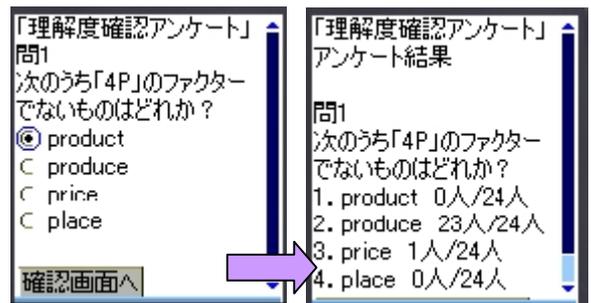
授業の終了前に授業評価を入力し、教員は評価結果を教員用画面で参照できる。



(携帯画面での出欠確認の流れ)

## 3. メリット

- ① コンピュータを設置しない一般教室でも大学のeラーニングシステムに接続可能となる。
- ② 教室授業での出欠管理・小テスト、事前事後学習での教材提示・レポート提出などを統合的に管理するため、他の情報と総合して学生の成績評価を行うことが可能となっている。



(携帯画面でのアンケートの流れ)

※教室のスクリーンにはeラーニングシステムの集計グラフを表示

## 4. 今後の課題・計画

携帯電話会社によって電波状態が悪く、苦情が多く寄せられたので、携帯電話会社との交渉により状況を改善することができた。しかし、携帯電話の通信料は学生負担となることについて学生から否定的な意見があり、キャンパス内での定額通信料設定などの検討が大きな課題として残されている。

### 《問合せ先》

関西大学インフォメーションテクノロジーセンター システム管理課  
Tel:06-6368-1172 nakasiba@sys.ipcku.kansai-u.ac.jp